



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、これを読んでくださる皆さんへ 2024年3月1日

皆さん、元気でしょうか？皆さんが元気になっておられることを心から願っています。

たった1つの望み

全てのものは、人も、たがわず、古び、いつかは、朽ち果て、ついには、なくなる。しかし、天と地の全てのものの造り主なる神の愛と、神の約束は、とこしえに耐えることがない。これこそが、これだけが、この世の全ての人の、たった1つの望み。

人は、自分が歳老い、古びて、存在が無くなることを思う時、そして、その絶望と空しさに向き合う時、真の神の愛と、永遠の命の約束が、神自身によって、現実であると、自分の心に示されることを知る。それは、正に、神の恵みと、あわれみです。

神様の前に、自分が誰であるか、自分が何であるのか、そして、神様から与えられている自分の役割が何であるかを知っていた、バプテスマのヨハネ

(ヨハネ1:19～34)

バプテスマのヨハネは、自分が、神の前に、誰であるか知っていました。エルサレムから人々が来て、「あなたはどなたですか？」と尋ねられた質問に対して、ヨハネは、ちゃんと自分が誰であるかを答えました。人々の心をイエス様に向ける

ために、彼は、はっきりと、自分が神の前に誰なのか、神からの自分の役割が何であるかを、人々に言ったのです。そうすると、多くの人がヨハネのところに出て行き、自分の罪を告白して、ヨルダン川で、ヨハネから洗礼を受けたのです。大勢の人です。

人が自分の心を神（イエス）に開く時、また神（イエス）を知りたいと求める時、神は、その人に、自分が、神の前に罪人であることを認めさせます。人の前にではありません。神の前にです。これらの心の変化は、ナイーブで愚かな気持ちではありません。それは、神の前に、「素直で正直な心」です。その人は、神のことがわかるようにさせてもらえるのです。先走りしますが、そのことを、イエス様は、こう言われました。「心のきよい者は幸いです。その人は、神を見るからです。（その人は、神のことがわかるようにさせてもらうからです。）」（マタイ5:8）

ハッキリと

ヨハネは、自分が何であるかを、はっきりと人々に言いました。「私は、預言者イザヤが言ったように、『主の道をまっすぐにせよ。』と荒野で叫んでいる者の声です。」「私は、昔から、聖書に預言されているその人です。」と。そして、自分は、後から来られるイエス様のくつのひもを解く値打ちもない者です、と、はっきりと告白しました。彼は救い主ではありません。彼が、人々から、偉い

者かのように注意を向けられるべきではありません。彼は、そのことを、知っていました。群衆はヨハネとイエス様を比べていたかもしれません。多分比べていたでしょう。もし群衆が、イエス様が誰であるかを知らなかったら、そんなことをしていたに違いありません（ヨハネ 3：26～30）。しかし、ヨハネは告白して否まず、「わたしはキリストではありません。」と声明したのです。彼は、人々の心を、イエス様に向けさせ、人々が、イエス様を知るように、「この方、イエス様が、世の罪を取り除く神の救い主です！ 人類の救い主です！」と叫びました。

バプテスマのヨハネと同じような者、私たち

私たちは、人の子となって地上に来られた神であるイエス・キリストが、私たちの罪の罰を代わりに受けて下った救い主と信じ、その愛を、心に頂いた者です。そして、全ての罪を赦され、神の子供とされ、天国での永遠の命をいただき、そして、神の全ての約束を頂いた者です（ヨハネ 3：16）。もし、私たちが、人々から、「あなたは、イエスと、どのような関係ですか？」と、尋ねられたら、私たちは、ハッキリ答えることができます。「クリスチャンって、何を信じてるん？」「あなたに何が起こったん？」「イエスの良い知らせ（ゴスペル）って何なの？」「どのようにしてイエスを信じれるようになったの？」などなど、それらの質問に、私たちは、答えることができます。ちょうど、バプテスマのヨハネのようです。私たちが誰なのか？私たちが何なのか？私たちのもらった福音が何なのか？尋ねられたら、シンプルに、わかりやすく説明するのです。私たちは、神の子供として、神に訓練され、話す相手に応じて、分かりやすく説明できるようになるのです。

私たちが、イエス様を信じられたのは、人からの説明で納得したり、説得されたりして信じたのではないのです。神の御霊によって新しく生まれることによって、神様から直接、福音（ゴスペル）

が本当であること、また、イエス様が、たった1人の望みであることを心に示されたのです。ですから、私たちが人々に福音を話す時、御霊が人の心に、イエス様のことを教えるのです。私たちの技量や説明の上手さではないのです。そのことは、ニコデモにとっても同じでした（ヨハネ 3章）。

ニコデモは、イエス様が行われた奇跡の業を直接見て、イエス様と、個人的に直接会って、イエス様から（イエス様からですよ!!）直接説明を受けても、それでも、初め、彼は、イエス様の言われることが、理解できなかったのです。えーっ？！それは、彼が、イエス様のことを、人間の事として考えていたからです。イエス様が神だとハッキリ分かったのは、ニコデモのイエス様を知りたい心に、御霊が教えたからです。そうして、彼は、神の子供として新しく生まれたのです。（ヨハネ 1：12、13）

バプテスマのヨハネの最後（マルコ 6：14～24）

バプテスマのヨハネは捕えられて牢に入れられます。そして、ヘロデの妻の娘が、ヘロデの前で踊りを踊ったほうびに、ヘロデは、心を痛めながらも、妻が求めたバプテスマのヨハネの首を、彼女の娘にやったのです。女から生まれた者の中で、1番すぐれた人ヨハネは（マタイ 11：11）、神からの役割を終えた後で、あっという間に神にとられたのです。そのとられ方は、この世で言うなら、むちゃだ、酷い、かわいそうだ、そのようなものでした。しかし、ある意味、それは神様の御心でもあったのです。そして、その後で、父の御心によって、イエス様は、十字架にかけられ、苦しみ、かわき、あのような死に方で、私たちのために命を捨ててくださったのです。父なる神様は神様です。そして、天におられます。私たちは、人間で、土地のチリで造られ、地にいます。どのような状況で、私たちは、この世を去って天国に行くか、それは、私たちには分かりません。しかし、神のひとり子であるイエス様の命の値段である高価な

私たちが、運が悪くて、たまたま、怪我で、病気で、知らないうちに、この世を去るということはありません。しかし、地震で、津波で、また火災で、または疫病で、戦争で、そのような中で、この世を去って天国に行くのかもしれませんが。マタイの24章のイエス様の言葉によれば、イエス様のために迫害され、殺されて、天国に行く人々もたくさんいるのです。(マタイ 24 : 9)

「この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことは決して滅びることがありません。」

(マタイ 24 : 35)

ですから、大丈夫です。イエス様の恵みとあわれみによって、私は、それを、思い出させていただいているのです。

私のことではない。

私は、イエス・キリストを伝える人です。私が話してきたことや、書いてきたことは、もちろん、私のことではないのです。私は、イエス様を話すように、良い知らせを伝えるように、神様から役割を与えられた者です。だんだんそう示されて、私はそう確信しているのです。「初めに、神が、天と地を創造した。(創世記1章1節)」という言葉から、(私はその時、まだ、神を知りませんでした) 私が、もし、神に造られたのであれば、「私を造った方が、私を造った理由と目的を持っているに違いない」と、真剣に考え始めました。そして、その後、だいぶ日にちがたった頃に、私は、神の霊によって、新しく生まれました。

輝かさせるだけ

"This little light of mine, I'm gonna let it shine" 私の心の内にあるこの小さな光、私は、それを輝かせるよ!

2月に、3日続けて停電があった。初めの2回の停電は昼間。最初のが分かったのは、冷蔵庫のアイスメーカーの氷が出ない。その次の日は、ウォシュレットの水ガアー。停電かあ。で、3回

目の前は、夜10時頃。どこか近所で、バーン!と大きな音がしたら、真っ暗になった。ゲッ、またあー! 窓から、外を見たら、この辺一帯、全て真っ暗! ろうそくがある。台所の流しの下だ。しかし、私がいなかった時に大掃除があったみたいで、そこに、ろうそくがない。家内は、両親訪問でいない。自分のリュックサックの中に懐中電灯がある。真っ暗な中、一階の自分の部屋に置いてるリュックサックまで、ゆっくり、そーっと降りて行き、家の中唯一のあかりをつけた。すごいねー! 暗いところが明るくなるって! 下の廊下から階段で上の居間まで上がるのに、何にもつまずかないで、普通に上がって来た。真っ暗じゃあこうはいかない。ろうそくはないのか? 2階の洗面所の下の開きのところにオイル・ランプがあった。それをつけて台所のテーブルの上に置く。家の明かりはそのランプと私の懐中電灯だけ。「でも、ろうそくいるよなあ。いつまで停電続くかわからんしなあ。」と、独り言を言いながら、ろうそくを探そうと、家中のありそうな所を見てみたが、ない! 諦めた。あかりは二つあるからカウチに座ってリラックスしよう。薄暗い中、なぜか歌いたくなる。で、ギターを持ったら、この歌、"This little light of mine I'm gonna let it shine"「私は小さい火、ひかりましよう。(日本語の歌詞)」歌い始めたら、涙があ。ベランダに出てみた。しば



らく辺りを見回す。どの方角を見ても、真っ暗！イエス様が私に言ってるようだ。「もう、あかりは探さなくていい。すでにもらってるんだから。あとは、輝かさせるだけ。」

私はこの暗い世の中に、イエス様の光を輝かせてもらいたい。輝かせてもらいながら天国に行きたい。やめないで、輝かさせてもらいたい。また、今日からです。私の心は奮い立っていた。私はこのために、生きさせてもらいたい。神様の栄光のために生き、そして、人々の永遠の命の希望のために続けて生きさせてもらいたい！私は、弱い男。しかし、心が、そう願ってると言う。イエス様、どうか、よろしくお願いします。また、涙があ。ベランダから居間にもどり、じっと座ってたら、静かに音が聞こえてきた。なじみのある、あの心地の良い音です。遠くから雨が来ているのです。私のトタン屋根にも降り始めました。真っ暗な夜中の雨降り。何とも言えない慰めの音です。イエス様の恵みは今日も、充分あります。嬉しくなります。(マタイ5:14~16)

コンサート

コロナが地球を襲って以来、それまで教会や学校、また、ホームコンサートなどで、各地の兄弟姉妹と一緒にイエス様を伝える機会が与えられて

いましたが、それらがほとんどなくなりました。コロナが、だいたい去った今、私は、道の駅で新しい人々に会って、ゴスペルを聴いていただくことを主に考えています。しかし、もし、御心で、イエス様が開いてくださるなら、以前のように、コンサートを通して、各地の兄弟姉妹と一緒にイエス様を伝えさせていただきたいとも考えてます。それは、道の駅での働きとは異なって、家族や知り合い、また、友達の方などを中心に聞いていただくものです。新しく来られる方の人数は少ないと思いますが、来られる方は、クリスチャンや教会と関わりを持ちやすい状況だと思います。

それで、もし、私を使って、コンサートをイエス様が導いてくださるようでしたら、どうか連絡してください。コンサートに来られる人数や献金は気にしないでくださいね。ホームコンサートや、人数の少ないコンサートでは、個人的にゆっくり話せたり、また、私の心の変遷なども詳しく話すことができると思います。いろんな質問もしてもらえる自由さが、聴いてくださる方の益になると思うのです。どうか、イエス様に祈ってみてくださって、イエス様が導いてくださるようでしたら、連絡してくださいね。よろしくお願いします。



4月のLIVE Information

春に、いくつかコンサートがあります。もし、皆さんの近くであるようでしたら、家族の方や友達を誘って聞きに来てください。もちろん、お一人でも大歓迎です。

4月14日(日)	市立伊丹ミュージアム	06-6427-4976 川辺
4月20日(土)	三公記念館 〒779-3604 徳島県美馬市脇町大字北庄421-1	0883-53-8397
4月21日(日)	〒779-1105 徳島県阿南市羽ノ浦町古庄大道ノ西13	0884-44-2450 川端
4月27日(土)	アルプスシオン教会 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂1490-19	0265-81-5389 細田
4月28日(日)	めじろ台シオンチャペル 〒193-0833 東京都八王子市めじろ台4丁目35-19	042-663-1310

ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24
FAX▶0833-91-6492
E-mail▶thewindisblowing@hotmail.com
HP▶<http://thedaywill.com>

振替口座▶01330-4-93687 ザ・デイ

Noboru Morishige
P.O.BOX 1666
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A
TEL ▶808-966-9252